

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史演習 単位数： 4 単位

対象学年組：第 3 学年 1～8 組 （自由選択科目）

教科担当者：（1～8組： 佐藤 岳咨 ）

使用教科書：（ 日本史探究 詳説日本史（山川出版社） ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをともに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日本文化のあけぼの 日本列島における文化の始まりを学ぶとともに、旧石器文化・縄文文化が営まれた当時の社会について理解を深めていく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	農耕社会の成立 水稲耕作が始まった古代日本において、人々の生活や社会構造がどのように変化したのかを理解していく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	古墳文化の展開 古墳ができた理由と、そこから考えられる当時の社会のようすを認識し、理解を深める。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	飛鳥の朝廷 当時の政権のようすや大陸・半島との関係性を、国内外の資料などに触れながら把握していく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
2 学 期	律令国家の形成へ 律令国家が誕生するまでの政治的動向や律令国家の仕組みについて理解していく。また当時の民衆の生活のようすを、様々な資料や記録を通して把握していく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	8
	平城京の時代 平城京遷都の前後の時代の流れを把握することでその意義や影響を理解するとともに、当時の政治体制や対地方・対外政策などについても学んでいく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	8

	文化史① 旧石器時代～古墳時代までの人々の生活や祭祀を通じて、当時の慣習や文化を比較しながら理解を深めていく。 文化史② 飛鳥時代～平安時代初期までに営まれた文化活動や創作物を通じて、各文化の特徴や前後との共通点・相違点を理解していく。 文化史③ 平安時代中期以降に営まれた文化活動や創作物を通じて、それぞれの文化の特徴や前の時代の文化との共通点・相違点を理解するとともに、なぜそのような変化が起きたかを当時の社会や政治制度について復習を行いながら理解を深めていく。 文化史④ 鎌倉時代～室町時代に営まれた文化活動や創作物を通じて、各文化の特徴や前後との共通点・相違点を理解するとともに、なぜそのような変化が起きたのかを当時の社会や政治制度について復習を行いながら理解を深めていく。また、その文化が社会に与えた影響にも触れていく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	38
	定期考査			○	○		1
	文化史⑤ 戦国時代に営まれた文化活動や創作物を通じて、文化全体の特徴や前の時代のものとの共通点・相違点を理解するとともに、そのような文化が生まれた背景を、当時の国内社会の動向や外交関係をふまえながら理解を深めていく。 文化史⑥ 江戸時代に営まれた文化活動や創作物を通じて、各文化の特徴や前後との共通点・相違点を理解するとともに、なぜそのような変化が起きたのかを当時の社会や政治制度について復習を行いながら理解を深めていく。また、そういった文化活動が社会に与えた影響や、社会によってどのように文化活動が変化したかを学んでいく。	・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示 ・項目ごとの問題演習の実施	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	16
2 学 期	問題演習および時代背景の解説 大学共通テスト（旧センター試験）や各大学の過去問題を参考に、問題演習を実施して知識定着及び授業内容の理解の深化を進める。 また、演習の結果から理解度を確認し、定着度の低い内容に関しては改めて講義を行う。	・問題演習の実施 ・問題内容の解説 ・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題の提示	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	40
	定期考査			○	○		1
3 学 期	問題演習および時代背景の解説 大学共通テスト（旧センター試験）や各大学の過去問題を参考に、問題演習を実施して知識定着及び授業内容の理解の深化を進める。 また、演習の結果から理解度を確認し、定着度の低い内容に関して	・問題演習の実施 ・問題内容の解説 ・教科書及び資料集の活用及び解説 ・一人一台端末を通じた復習課題	【知識・技能】 ・学んだ知識を活用できている。 【思考・判断・表現】 ・適切な判断をできている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら進んで学習に取り組んでいる。	○	○	○	4
							合計
							140